NPO World Federation of Amateur Orchestras

使わなくなった 中古楽器をネパールの子供たちに贈りませんか？

NPO-WFAOがあなたの楽器を国際協力に役立てます

❶簡単！

NPO-WFAOに
着払い宅急便で
楽器を送って
いただくだけ

❷安心！

小さな修理・
弦の張り替え等
をNPO-WFAOが
代行します

❸確実！

NPO-WFAOの
スタッフが
ネパールまで
直接持参します

NPO-WFAO（日本）は、青少年・社会人を含む世界のアマチュアオーケストラに対し、その音楽活動の向上と組織の拡大に関する事業を行い、世界のアマチュアオーケストラの交流と発展に寄与することを目的として活動しております。

その一環として、音楽を楽しみたいが楽器に恵まれない国の青少年を対象に、中古楽器の寄付事業を行います。

今年度はネパールの「クレッシェンド国際管弦楽団」を通じた支援として、みなさまから中古楽器の寄付を募ります。同楽団は2014年4月19日（土）に演奏会を開催しますが、それに合わせて、NPO-WFAOのスタッフが楽器を持参いたします。世界アマチュアオーケストラ連盟（WFAO：米国）の賛同・協力も得て、他の国々からも支援が行われます。

みなさまの温かいお心遣いとご協力を、心よりお待ちいたしております。

＜♪補足事項＞

①対象楽器：弦楽器（分数楽器含む）

②費用負担：ありません。
送料は着払いでNPO-WFAOが負担します。
弦の張り替えやそれに準ずる小規模な修理は
NPO-WFAOが費用負担し行います。

③応募多数の場合：
子供のための分数楽器や程度の良い楽器等を優先させて頂き、それ以外の楽器は、
次の支援国が決まった段階で、
改めて送付をお願いすることがあります。

まずは、メールで
ご連絡ください
（楽器名・サイズ・本数・状態等）

締切：2014年3月17日（月）

NPO World Federation of Amateur Orchestras
特定非営利活動法人 世界アマチュアオーケストラ連盟
〒441-8061 愛知県県豊橋市立花町４６光陽ビル３階
（公社）日本アマチュアオーケストラ連盟内
ご連絡先：e-mail NPO-WFAO-info@yahoogroups.jp
TEL：0532－33－6885 FAX：0532－33－6875

すべては世界アマチュアオーケストラフェスティバルin静岡の出会いから

ドイツのリューディガーさんが、静岡大会でネパールからの参加者ビルダさんと出会い、ネパールの子供たちに何が出来るだろうかと、ご自分で楽器を調達・輸送されました。その物語をご本人の言葉でご紹介します。

リューディガーさん(左)

何かを始めようとした時には、誰しもその成果や将来それがどんな展開に発展するのか、までは分からないものです。森下先生がアマチュア音楽家の集まりを世界規模で企画された意図は、異なる国からの見ず知らずの人たちが平和的で仲の良い出会いの場を持つことで、参加した私たち全員が同じ希望、夢、不安などを共有することだったでしょう。人間的で根源的な相互理解は文化の違いを超えて存在します。間違いなく森下先生は、音楽仲間同志の関係が、フェティバルの週末を過ぎても、ずっと続くことを願ったことでしょう。

そうされている方もおられるでしょうが、私も2012年の「世界アマチュアオーケストラフェスティバル」による“副作用”の一つを、ここにご紹介したいと思います。

ネパールの風景

2012年7月に夫と私は、友達から2013年3月のネパールでのハイキングツアーに誘われていました。その後、私たちは2012年8月のJAOフェスティバル静岡大会に参加したのですが、その時、ネパールからも参加者がいると聞いて驚いたのです。西洋音楽をネパールで演奏する人ってどんな人たちだろうと、私たちはとても興味がわきました。それで私たちは参加者であったビルダ シャーマ ガウタムさんに会いに行きました。彼は数年前にカトマンズで「クレッシェンド国際管弦楽団」を設立された人でした。彼は私たちに、そのオーケストラでの活動内容や、抱えている課題を語ってくださいました。

オーケストラのみなさんは、演奏活動だけでなく、子どもたちにクラシック音楽を教えることにも注力されていました。ビルダさんは、ネパールでは子供たちが楽器や付属品を買うにはとても苦労すると話してくれました。アレックス バン ベベーレン氏のベルギーの音楽家グループがこのオーケストラにたくさん支援をしていましたが、このオーケストラの支援は一筋縄ではいきません。子供用の分数ヴァイオリンは何台かあったのですが、チェロは大人用のフルサイズが２本しかなく、小さいチェロを入手するすべがなかったのです。
私は、何かできたらいいのだが、と考えました。私はエアランゲンのアマチュア音楽団体、「エアランゲル室内管弦楽団」と「シーメンス室内音楽団」に所属しており、「クレッシェンド国際管弦楽団」のために1/2のサイズのチェロを買う構想をメンバーに伝えました。するとこの企画に寄付が集まり、最終的に1/2サイズ、3/4サイズ、3/4サイズのヴァイオリンと弦や楽譜なども購入することが出来たのです。

ドイツからネパールまで楽器を持参

次に私はどうやって輸送しようかと考えました。最初、国際配達を広告しているお店を見つけたのですが、あまりに厄介なのでネパール向けの配達はしていないと言われてしまいました。それで私たちは、ハイキング用リュックを出来るだけ軽くして、航空会社「エアインディア」が許可する２つの手荷物としてチェロを運ぶことにしたのです。チェロを売ってくれた私たちのオーケストラのヴァイオリン工房の方々が、チェロを段ボール箱に厳重に梱包し、鮮やかなオレンジ色の「壊れもの」テープをあちこちに貼り付けました。最初、見る人見る人みなさんが、この巨大な箱に目を丸くしましたが、おかげでカトマンズまで何事もなく無事に楽器を運ぶことが出来ました。

クレッシェンド国際管弦楽団と合奏

その翌日、嬉しいことに私はクレッシェンド国際管弦楽団の練習に参加させて頂きました。曲目はブラームスのハンガリー舞曲第５番でした。

こんな音楽家のみなさんとの出会いはなんと素晴らしいことでしょう。

私たちはこれからも連絡を取り合いますね。

ジュディス リューディガー、チェロ（ドイツ）